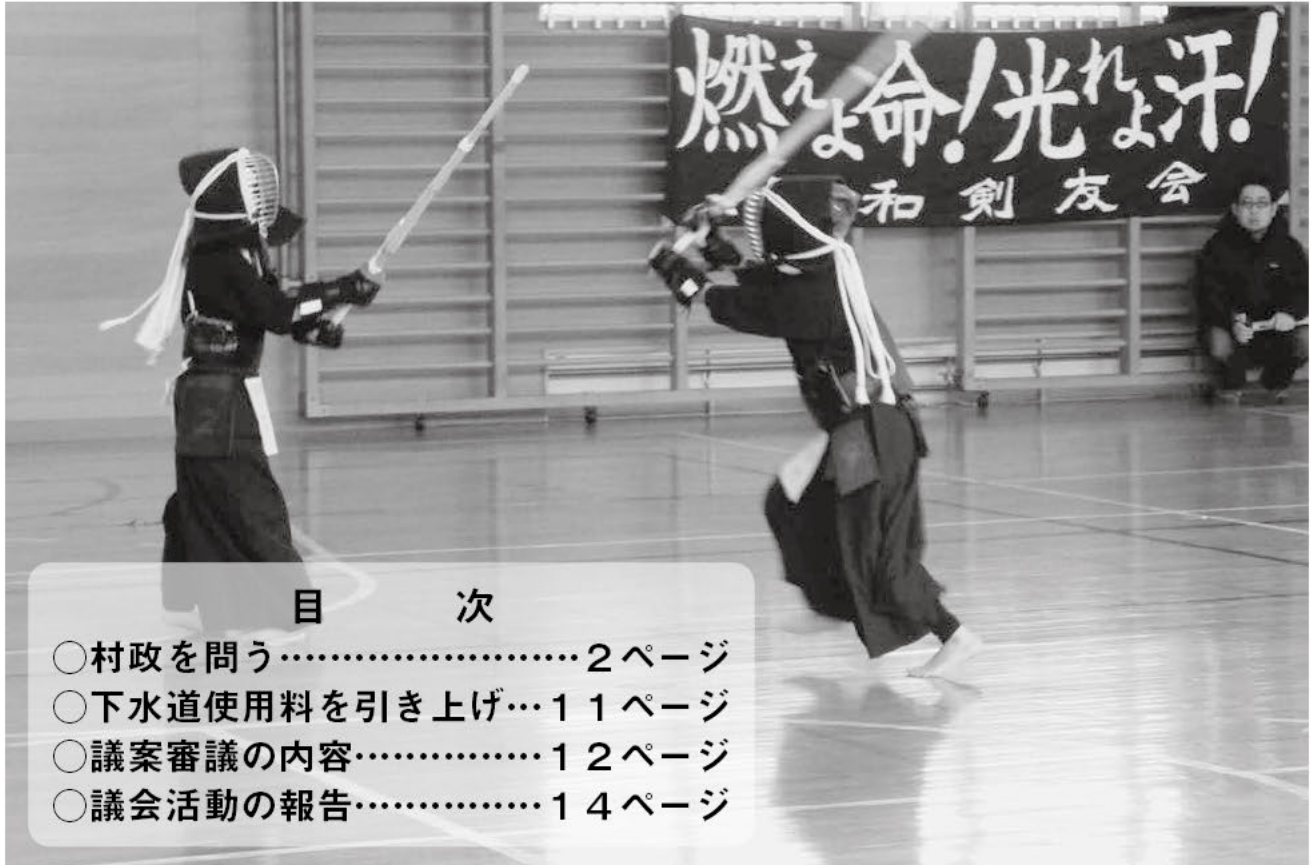




昭和村

議会だより

第 136 号 平成26年 2月19日発行



目 次

- 村政を問う…………… 2 ページ
- 下水道使用料を引き上げ… 11 ページ
- 議案審議の内容…………… 12 ページ
- 議会活動の報告…………… 14 ページ

第1回昭和村体育協会長杯剣道大会（1月18日）

平成25年 第4回議会定例会が開催されました

12月13日から17日まで開催され、下水道条例の改正や補正予算、要望などを審議し、全議案が可決されました。

一般質問では9人の議員が村長の考えを質し、^{ただ}熱の入った質問、答弁が繰り広げられました。

今後も皆様の期待に応えられる議会を目指して活動してまいりますので、ご意見をお聞かせください。

平成26年 第1回議会定例会のお知らせ

3月7日から12日までの日程で開催予定です。

今回は平成26年度当初予算を審議する議会です。一般質問は10日、予算審議は11日、12日になる予定です。ぜひ傍聴においでください。

村政を問う

一般質問



《菅家敏章 議員》

Q 耕作放棄地の対策作物は

A 新たな品目は導入しない

問 少子高齢化で村内の耕作放棄地はまだまだ増えてくるのではないかと思われる。耕作放棄地を耕作して、どのように維持していくか。耕作放棄地の対策作物はソバ、菜種、エゴマ等で良いのか。目玉となる作物等はないのか。

村長 奨励品目については、関係機関と検討を進め、長年、懸案事項として取り組んできたところである。新たな品目を導入するので

はなく、栽培技術と品種の統一化を図り、量産化に向けた取り組みができないか検討しているところである。

問 ソバ、菜種、エゴマの商品はいくつがあるが、まだまだ軌道に乗っていない。行政は、商品開発を図る者に対して補助金を支出し、開発を支援すべきと思うが。

村長 短期間で終了することなく、長期展望を見据えた中で、生産

組合などの団体からの要望を受け、検討してまいりたい。

問 平成26年からの米政策見直しでは、飼料用米の作付け転換を奨励するようだが、小規模農家は飼料用米を作付けできるか心配だ。

村長 種子の確保や流通経路等が明確になり、JAなどの集荷業者と事前に契約が結ばれば、水田を水田として活用することができ、

新たな設備投資も不要であることから、飼料用米の作付け可能であるのではないかと考えている。米政策については、今後、国から公表される各種制度等を見きわめながら、村内農業の振興を図っていく。



Q 空き家修繕費の支援を

A 制度拡充を検討する

問 村外からの定住者が空き家を購入した場合は、修繕が必要な物件が多く、その費用は多額になる。

人口増加には定住者の確保が一番であるので、それら費用に対し村は十分な支援をすべきと思うが村長の考えを伺いたい。

村長 空き家住宅の改修は、空き家住宅改修援助金制度で支援している。この制度は、賃貸目的の空き家を改修する場合を対象にしているが、近年は、譲渡や売買のケースもあることから、制度の対象者拡充を検討してまいりたい。

Q 村長の3期目出馬は

A 後援会とも相談し判断したい

問 村長は、3期目に出馬するのに向うか。

村長 次期村長選挙は、これまでの成果と、将来に向けた村民の皆様の声にしっかりと耳を傾け、今後、後援会とも相談し、判断したいと考えている。

村政を問う

一般質問



《栗城敏郎 議員》

Q 平成26年度予算編成は

A 振興計画に基づいて編成する

問 昭和村振興計画の進捗状況と今後の見通しは。

村長 おおむね実施計画のとおり遂行されている。来年度以降の事業実施のため財源の確保に努め、計画実現に向け施策を実施する。

問 平成26年度の財源確保の見通しは。

村長 地方交付税などは不透明だが全力で取り組む。

Q 昭和本郷増床の進捗状況は

村長 昭和本郷増床後に実現できるように努めたい。

問 新年度の主な重点事業と優先事業は。

村長 第五次振興計画に基づいて編成する。例えば高齢者福祉サービスの実、農業の振興、からむし及び観光交流の振興、定住化対策、国道改良整備促進及び村道改良の推進などを考えている。

問 上下水道施設の維持管理や修繕は。

村長 簡易水道施設は、水管橋の修繕を年次計画で実施する。下水道設備も年次計

画で排水管の点検清掃を行う。

問 福祉事業の一元化構想の進捗状況は。

村長 昭和本郷増床後に実現できるように努めたい。

Q 施設等の有効活用

A 方法を検討する

問 公民館にある5基の天体望遠鏡の有効利用を図るべきと考えるが。

教育長 利用を希望する村内の事業所や各種団体への貸し出しを検討したい。

問 からむし織の里の有効活用をはかれ。

村長 交流会の開催充実や小規模な会議、研修会等の積極的な開催に努め、施設の有効利用を推進する。

Q 村外医療機関へ送迎バスを

A 協議をしている

問 村外医療機関への依存が高いことから、試験的に村外医療機関行きの送迎バスを運行してはと考えるが、村はどんな対策を考えているか。

村長 現在、県立宮下病院と無料送迎バスの運行について協議を進めている。需要を探るためのアンケートを実施した上で、来年からの試行運行につなげていきたい。



村政を問う

一般質問



《馬場栄三 議員》

Q 幼児教育の充実をはかれ A 現状では保育所が妥当だ

問 国際共通語である英語を幼児期に学ぶことが必要ではないか。保育所と幼稚園の両方を備えた「認定こども園」は、新たに施設を造る必要はなく、保育所の施設でも幼稚園教諭を設けることよって可能なので、幼児教育の充実を図るためにも必要と考えるが、教育長の考えを伺う。

教育長 昭和村の現状では、現在の保育所を継続していくことが妥当であると思われる。

答 幼児の保育や教育について、先進的な取り組みを始めた地域があるので、研修視察などを行うことは承知している。組み入れて研究し、今後の方向性を探る参考にしたと思う。
問 英語については学校教育の英語指導を充実させることが肝要である。その場合も母国語である日本語の指導がまず重要であり、日本語を大切にし、日本語で思考し、判断し、表現する能力を豊かに育成することを大前提に

して英語教育を進めていくことが大事であると考えている。

Q 第三セクターの指導監督は A 適正におこなう

問 第三セクターの、(有)グリーンファームの株主構成を示せ。

村長 社員である個人2人、昭和村、JA会津みどりの4者で、一部自社株として会社が所有している。

問 株主の持ち株数を教えていただきたい。

産業建設課長 昭和村が102口。JA会津みどりが25口。個人が2口と1口。会社の持ち株が73口。合計203口である。

問 会社の持ち株比率が73口で約36%になったが、今後、行政が指導、監督する場合に支障にならないか。

村長 村が所有株数の過半数を占めているため支障はない。

問 副村長にお聞きする。株主総会において特別決議を要する場合に支障にならないのか。

副村長 商業関係の法律の専門家ではないが、出資比率にあわせて必要な指導なり、あるいは経営に対する関わりを適正におこなっていく。

問 今後、昭和村として稲作事業をどう考えているのか。また、(有)グリーンファームはどのような事業をすべきであるか。行政は考えているのか。

村長 稲作事業は国で米政策の見直しを進めているが、詳細な内容は確認できていない。今後の米政策の推移を見極めながら推進を図っていく。また、(有)グリーンファームは、農地の維持・管理・保全を継続し、水田農業を主体に事業を進めるものと考え、村としても関係機関と連携を図り支援する考えである。



このほかに、次期村長選挙出馬について質問がありました。

村政を問う

一般質問



《五十嵐勝 議員》

Q 女性議会の開催を

A 既存の会議を有効に使う

問 少子高齢化と人口減少の進む中では、村政にも女性の意見を大いに反映させるべきであり、その機会として「女性議会」を開催することが村民との本当の協働の村づくりに役立つのではないのかと考えるが、村長の考えを伺いたい。

村長 各種委員会では女性も委員として活躍している。それぞれの委員会で女性の意見や要望が積極的に出せるような会議づくりをすることが大切である。

女性議会も一つの手法であるが、既存の会議を有効に使い、村の活性化につなげるのが重要であると考えている。

問 振興計画の基本目標の一つ、みんなが主役の協働の村づくりを掲げ、いろいろな人の意見を聞くと謳っているが、どのような集會をおこなったのかお聞きしたい。

総務課長 村政懇談会や各種委員会、さらには座談会のような会議

に積極的に参加して情報を得ている。

問 委員会での女性の発言は少ない。女性の本当の考えというものをどこで聞いているのか。機会を設けるべきでないのか。

村長 婦人団体の総会が終わって、お茶を飲みながら懇談会をしたことがある。改まった場所では積極的な声が出ないと実感した。発言を促すような方策も大切だと感じた。男女共同参画に向けて努力したい。



Q 6次産業への独自の取り組みは A 加工施設の整備に対して補助する

問 6次産業の取り組みについて考えていること、現状、今後の見通しなどお聞きしたい。

村長 農産物の食品加工、販売による新事業の創出を目指し、事業の推進を図っている。加工施設の整備に対し、事業費の上限を500万円とし、その3分の2の額を補助する体制をとっている。現在のところ1団体が事業に取り組み、加工施設の整備を進めているところである。

問 6次産業に向けて研修をさせたり、調査したり、その機会は、

村独自ではつくっていないのか。

産業建設課長 研修に行った経緯はあるが、村独自の施策は実施していない。

待望の施設が完成



このほか、村長選挙について質問がありました。

村政を問う



《馬場政之 議員》

Q 災害時の避難支援体制は

A 区長等と支援体制の構築を検討したい

問 災害時に支援が必要な人を把握しているか。

村長 保健福祉課と社会福祉協議会の各種名簿から対象者を把握し、昭和村要援護世帯マップを作成している。

問 消防団または区長などと連携した援護の対策はどのように構築しているのか。

村長 要援護者1人に対し近隣住民や消防団機能別団員2名程度で

避難支援を行う計画だが人員確保が困難な状況であるため、区長や民生委員と、隣組単位を核とした支援体制の構築を検討したい。

問 土砂災害ハザードマップを作成していない理由と、今後の取り組みは。

村長 土砂災害警戒区域に指定された地域では説明会を開き資料も配布している。なお、新年度に地震災害を含めた危険箇所防災マップを作成する計画だ。

問 集まった場所にこちらから出向く、そういう手法もある。本当の村民との協働の村づくりをしていく観点から必要だと思うが。

**Q 村民主体の村づくり推進を
A 対話の機会を大切に**

問 村民主体の村づくり推進のため、どのような懇談を開催しているのか。また今後の取り組みは。

村長 懇談会という形式はとっていないが、各団体の事業に出席して情報交換に努めてきた。今後も形態にとらわれず、各地区、各種団体との懇談、対話の機会を大切にして、村民主体の村づくりに努める。

村長 私もできる限り

会合には出席したいと心がけているが、なかなかスケジュールが混み合って出席できないところもある。努めて皆さんと話し合いをしているということはある。ご理解いただきたい。これからもそういう姿勢で皆さんとの話し合いに臨んでいきたいと思う。

**Q 個人受託農家へ
支援を**

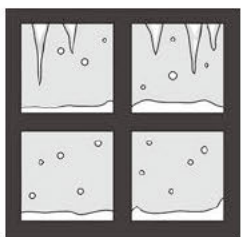
A 何らかの支援を検討したい

問 今後の本村農業を考察するに、現在の個人受託者のための支援策が必要だと考えるが。

村長 個人の資産拡充になるような援助はできないが、意欲ある受託農業経営者に対し、何らかの支援ができれば検討したい。

問 例えば、受託面積に応じた支援とか、機械を導入した場合の借入金の支援とか。色々知恵が出てくると思う。財政の事情もあるが考えていただきたい。

村長 先ほども申したように、個人の財産取得に助成するのが厳しいということである。皆と良く意見交換をしながら、村の人達にも理解を得られるような考えで進めるべきだと思う。



村政を問う

一般質問



《東原源伯 議員》

Q 収集した民具類はこの後どうするの

A 抜本的な解決策がない

問 文化財について、どのようなご所見をお持ちか。

村長 昭和村の歴史や文化などの正しい理解のために必要であると同時に、将来の文化の向上や発展のもととなる大切なものであると認識している。

問 文化財保護の現状はどのように考えているのか伺ねる。

村長 駒止湿原は駒止湿原保護協議会を通して、保護と観光の両面から研究しながら取り組んでいる。

矢ノ原湿原は今年度新しい木道を設置したり、専門家に依頼して植物調査をおこなっている。

からむし織に関する伝統文化の継承と保護の活動は全国的にも評価されている。

村指定文化財は昭和村文化財保護審議会の協力で取り組んでいる。

問 小野川生涯学習センターに保管されている民俗資料の民具類は、今後、どのように分類、整理するのか伺う。

教育長 抜本的な解決策が見出せず、方向性を探っている。今後、昭和村文化財保護審議会や、文化財保護に造詣の深い人の意見も聞きながら取り組んでいきたい。

問 民具類は収集して50年余経過している。傷んで朽ちてしまう。もう少し早くできないか。

教育長 今すぐの解決が難しいとは言っても、前向きに取り組んでいくのでご理解願いたい。

問 収集民具類を広く村民に歴史や文化財に

接する機会を設けて理解を深め、継承していく意義を醸成する考えはないのか。

教育長 地元学の昭和学講座など機会を設定する。また、小学校や中学校の教育課程に位置づけて学習することも検討したい。なお、奥会津大学を受託しているNPO法人苧麻倶楽部とも連携して取り組んでいきたい。

問 貴重な民具類は、収蔵庫で管理、展示し、後世に引き継ぐ責務があると思うが、どのように考えているのか。

教育長 現状では、収蔵庫などはすぐに解決できる段階にはない。意義は十分認識しているが、課題が山積している。今後、全国の保管環境の取り組み例を

調べたり、近隣市町村の例に学んだりしながら、昭和村の実情に応じた解決策を探ってみたいと考えている。

問 観光スポットとして収蔵庫を設置すべきと思うがどうか。

教育長 施設が整えば、観光スポットとして注目される可能性は十分にあると思う。ただし、民具類を展示しただけでは、多くの集客が望めなくなっているのが、全国各地の近年の悩みである。

民俗資料そのものについての注目度が薄れてきているという悩み、比較的環境が整っている博物館でも、維持管理が難しくなっている。全国の事例を見てみると、苦慮している例も報告されていることから、慎重に検討すべきだと考えている。

村政を問う

一般質問



《菅家一博議員》

Q イノシシ用のわなを整備せよ
A 新年度に整備する

問 イノシシによる農産物への被害を防ぐため、本村もわなの整備が必要不可欠ではないかと思われるが、村長の考えを伺いたい。

村長 専用わなを整備したいと考えている。

Q 防犯灯をLEDに
A 器具を購入する予定だ

問 集落の防犯灯の中には蛍光灯が切れ、機能を果たさなくなっているものが多く見受けられる。夜間、外を歩く高齢者などにとって、大変危険な状態である。寿命も長く、明るいLED照明への交換が有効な方法かと考えるが、村長の考えを伺いたい。



(わなのイメージ)

村長 現在、村内の防犯灯は449灯設置されている。3年ごとに東北電力から防犯灯の器具が寄贈され、器具の新設や交換があれば集落へ配布して、取り付けと管理をしていただいているところである。しかし、今年からその寄贈が中止になることから、今後は村で予算を計上し、LED防犯灯の器具等を購入する考えである。

LED照明は高額であるため、財源となる補助事業などの有無も含め検討したい。

Q 博士峠トンネル開通に最大限の力を注げ
A 力を集結し要望活動に邁進する

問 博士峠トンネル化の進捗状況は。今後の工程なども含め、村としてどの程度把握しているのか伺いたい。

う要望活動を実施するので、ご理解とご協力をお願いする。

村長 平成25年度は道路改良事業に伴う予備設計と周辺の環境調査が進められており、12月20日に区長や、関係各位に対し事業の説明会を開催する計画である。なお、説明会資料は後日村内全戸に配布する。平成26年度は詳細な測量設定を進める計画と聞いている。

問 全体の概算事業費が140億という大業である。村長を始め職員、我々議員も最大限の力を注がないと、トンネル開通は難しいと思うが、村長はどう考えているのか。

今後は用地の確保がスムーズに進み、早期に工事が着手できるようにしたい。

村長 博士峠のトンネル開通は、昭和村民の生活にとって一大変革である。力を結集しながら要望活動に邁進する決意である。

村政を問う

一般質問



《角田藤一 議員》

Q 下平グラウンドのナイター
支柱は安全か

A 専門家に確認してもらおう

問 下平グラウンドナイター設備の今後の利用はどのように考えているのか。

教育長 電気料金がかさむことから平成17年度に発電機を利用する方式に変更したが、ナイターの利用は全くない状況である。今後也希望する団体などがあ
る場合は、現在の電力供給の形態を説明、協議した上で活用していきたい。

問 ナイター設備のほとんどの支柱に亀裂が入っている。支柱の点検はやっているのか。また、支柱の耐用年数をお示し願いたい。

教育次長 平成22年に点検をしたところ、基礎台16本全部に縦型の亀裂が確認された。平成25年に点検をしたところ亀裂が少し開いた箇所もあったため、専門家の目で確認していきたい。

Q 地域防災計画の見直しが必要
A 適時見直しをおこなう

問 全国的に災害が多数発生し、その種類も形態も多様化している。本村も地域防災計画の見直しが必要ではないかと考えるが。

村長 多種多様な災害に迅速かつ適正に対応するためにも、地域防災計画の見直しは必要であり、適時見直しをおこなう。

問 災害対応マニュアルには地震について書かれていない。地域防災計画の見直しの際に考えてほしいと思うが。

総務課長 平成25年6月に災害対策基本法が改正され、国から政省令事項が示されるので、それを参考に見直していきたいと考えている。

Q 稲作農家に独自の助成を
A 今後の課題として取り組む

問 米の生産調整と経営所得安定対策について伺う。

村長 現時点で推進方法や、米政策の改正に伴う関連した制度の内容が不明確な状況である。市町村への説明は2月上旬になると想定されており、今後国から示される各種情報をもとに、状況を見きわめながら推進していきたいと考えている。

問 遊休農地を出さな
いたためには、稲作農家に対し村独自の助成が必要だと思う。村長の考えを伺いたい。

村長 個人に対する支援は厳しいと考えるが、いろいろな意見を聞きながら、今後の課題として取り組んでいきたいと思う。



村政を問う

一般質問



菅家 勝 議員

Q 平成26年度の予算編成を問う

A 村民の要望に応えられる予算にしたい

問 来年度の地方交付税の額は。また、その確保のため村はどんな対処方法を考えているのか。

村長 現時点では地方財政計画の動向など不透明な状況であるが、財源確保に向けては関係団体と歩調を合わせ、全力で取り組む。

問 平成26年度予算編成規模と骨子は。また、昭和温泉交流拠点施設整備事業は予定どおり実施できるのか。

村長 予算規模は現時点では明確に答えられないが、村民の要望に応えられる予算にしていきたい。

総務課長 昭和温泉交流拠点施設整備事業は県の重点事業に入っているため、予定どおり執行できると思う。

問 昭和ホームの増床は計画どおり可能か。

村長 円滑に事業が遂行できるよう支援する。

問 平成26年度の村道改良箇所と平成27年度以降の予定を示せ。

村長 下中津川阿久戸地区と上平地区を計画している。27年度以降は要望のある8路線を、年次計画で整備する。

問 できるだけ早くできないのか。

村長 村の財政状況を考えながら優先順位を決めて施工したい。

問 集落から要望のある農道や農業用水路の改修はどう考えているのか。

産業建設課長 用排水路等小規模修繕事業補助金を継続する。



Q 本村農業の今後のあり方は A 情報を見きわめ推進を図る

問 転作補助金が大幅に減額される。本村農業の今後のあり方を尋ねる。

村長 現時点では米政策の改正に伴う内容が不明確なので、今後の情報を見極めながら、推進を図る。

問 飼料用米の作付はどうするのか。また、転作で畑地化した水田の復田対策は。

村長 流通経路が明確になれば新たな設備投資も不要であり、作付は可能と考えている。水田の復田は国の支援策を期待している。

問 日本型直接支払と中山間直接支払とのかわり合いはどうなるのか。

産業建設課長 現時点で内容など不明確であるため、県に対し早目の情報提供をお願いしている。

問 産地交付金は地方の裁量で作物を決め、農家を補助する方向であるがどのようにするのか。

産業建設課長 会津みどり地域再生協議会で検討することになると推測される。

問 米の価格補償は継続されるのか、村の対応について尋ねる。

産業建設課長 国の施策として概算予算も決定されており、明確に答弁することができない。

議案の審議

下水道使用料が引き上げになります

本定例会で「昭和村下水道条例の一部を改正する条例」が村長より提出されました。

その内容は、下水道使用料の基本料金を200円、超過料金を20円引き上げるものです。

採決の結果、賛成議員7人・反対議員2人の賛成多数で可決されました。

なお、新しい料金は5月の使用分から適用されます。



〔一般・営業・官公署共通〕

基本料金 (一月につき)	超過料金	
	汚水量	金額 (1㎡につき)
1,400円が → <u>1,600円</u> に	10㎡を超え 50㎡まで	120円が → <u>140円</u> に
	50㎡を超え 100㎡まで	140円が → <u>160円</u> に
	100㎡を 超えるもの	160円が → <u>180円</u> に

※ 消費税率も5%から8%に増加します。

質疑の主な内容

問 上下水道審議会の意見は、値上げ後に料金はいくら増収になるのか。

答 審議会では賛成の回答をもらった。料金の増収は約290万円である。

問 大芦地区が全て加入するまで上げないでもらいたい。

答 概ね加入が進んだと判断し改正する。

問 高齢者世帯など村民の実情も加味したのか。また、定住者を増やすためにも現在の料金で良いのでは。

答 下水道事業経営と村財政を考慮すると、いずれは値上げしなければならぬ。年金生活者が多いことは存じている。極端な負担増にならないよう少額の改正にした。ご理解願いたい。

議案の審議

議案審議の内容

その他の議案の主な内容をお知らせします。

条例改正

① 諸収入金に対する督促手数料及び延滞金徴収条例

② 昭和村介護保険条例

③ 昭和村後期高齢者医療に関する条例

3件とも延滞金の利率を改めるものです。
採決 全員賛成で可決

④ 昭和村ブルトーザー使用条例

文章中の「ブルトーザー」という表記を「ブルドーザー」に改め、使用料も消費税率の改正に伴い改めるものです。
採決 全員賛成で可決

⑤ 昭和村簡易水道事業給水条例

簡易水道料金は消費税を含んだ「内税方式」でしたが、消費税率が改正されるのに伴い「外税方式」に改めるといふものです。
採決 全員賛成で可決

予算の補正

① 一般会計予算（補正第7号）

現在のしらかば荘を解体する工事費や観光開発基金への積立など総額1億6千7万6千円を追加し、その結果、予算総額を22億262万9千円とするものです。
採決 全員賛成で可決

② 国民健康保険特別会計予算（補正第3号）

医療費関連の勘定を3千161万3千円追加し、予算総額を2億6千407万7千円に。診療所関連の勘定を74

万6千円追加して予算総額を1億5千268万円とするものです。
採決 全員賛成で可決

③ 簡易水道事業特別会計予算（補正第2号）

4万円を追加して予算総額を7千419万8千円とするものです。
採決 全員賛成で可決

④ 下水道事業特別会計予算（補正第3号）

3万8千円を追加して予算総額を7千571万6千円とするものです。
採決 全員賛成で可決

⑤ 農業集落排水事業特別会計予算（補正第3号）

55万2千円を追加して予算総額を5千597万9千円とするものです。
採決 全員賛成で可決

⑥ 介護保険特別会計予算（補正第3号）

介護給付の勘定を125万9千円追加して予算総額を2億6千767万3千円に。

介護サービスの勘定を60万8千円減額して予算総額を1千178万5千円とするものです。
採決 全員賛成で可決

⑦ 合併浄化槽事業特別会計予算（補正第2号）

3万6千円を追加して予算総額を566万5千円とするものです。
採決 全員賛成で可決

陳情と要望の審議

① 2014年度教育予算の充実と教職員定数の改善を求める意見書提出方の陳情書

採決 全員賛成で採択

② 要望書（村道喰丸下日影線道路改修について）

採決 全員賛成で採択

③ 要望書（小中津川字石仏地内水路整備について）

採決 全員賛成で採択

議員提出議案

① 2014年度の教育予算の充実と教職員定数の改善を求める意見書の提出について

〔提出議員 東原源伯〕

採決 全員賛成で可決

② 東京電力福島第一原子力発電所における汚染水問題の早期解決を求める意見書の提出について

〔提出議員 菅家敏章〕

採決 全員賛成で可決

議案の審議

村長行政報告

定例会初日（12月13日）に村長が報告しました。要点をお知らせします。

の集荷状況は、一等米が99・7%だった。平成26年産米の生産数量目標は年末に示される見通し。

(1) からむし織体験生事業

今年度20周年を迎え、シンポジウムや交流会、記念展などの記念事業を開催した。平成26年度も4名を募集したい。

(2) 昭和温泉宿泊交流施設整備事業

温泉交流棟の工事進捗率は11月末現在で50%で予定どおりの進捗。また、(株)奥会津昭和村振興公社では料理長と料理人の採用調整をおこなっているところがある。

(3) 農業（稲作）

10月末現在のJA会津みどり昭和総合支店

(4) 農業（宿根かすみ草）

11月下旬までの出荷本数は前年より11%減少したが、販売額は16%増の約4億円となっている。引き続き販売促進に積極的に取り組む。

(5) 原子力発電所事故関連

米、野菜、栽培キノコ、野生キノコ、簡易水道水を検査した結果、野生キノコから基準値を超過放射性セシウムが検出された。

(6) 村道整備

村道下中津川町線の改良舗装工事は12月中旬に完了予定。その他の改良箇所は完了している。

(7) 福祉関係

社会福祉法人昭和福祉会が実施している特別養護老人ホーム昭和ホーム増床事業は、基本設計が完了し、用地取得の協議が進められているところ。村も引き続き支援する。

また、民生・児童委員は11月末の任期満了に伴い、12月から新たなメンバーになった。

(8) 映画「ハーメルン」

11月9日、10日に映画のロケ地を巡る旅を実施したが、想定より少ない8名の参加者だった。

臨時議会開催

11月11日に第5回臨時議会が開催されました。主な内容をお知らせします。

契約の締結

① 昭和村情報通信基盤強じん化工事

地上デジタル放送と防災無線の光ファイバーケーブルに事故が起きた場合の補完システム工事7千959万円を、NTT東日本福島支店と契約するものです。

採決 全員賛成で可決

予算の補正

① 一般会計予算（補正第6号）

② 下水道事業特別会計予算（補正第2号）
下水道汚水管の破損箇所修理工事に関する内容で、ふたつの会計ともに92万円を追加するものです。

採決 全員賛成で可決

人事案件

① 人権擁護委員候補者の推薦

小林ろく子氏（野尻）の推薦について審議しました。

採決 全員賛成で同意

議員提出議案

① JRR只見線の早期全線復旧を求める意見書の提出について

〔提出議員 菅家敏章〕

採決 全員賛成で可決



議案活動を報告します

行政視察

草加市の 防災対策の研修 ～埼玉県草加市～

10月6日、7日の2日間の日程で草加市を訪問しました。

初日は草加宿場まつりパレードに参加して本村のPRをしました。

2日目は地場産業視察と松原小学校訪問、そして視察のテーマである「草加市の防災対策」を研修しました。

今後は、両市村の防災担当レベルでの相互理解の機会や研修も必要だと感じました。

過疎地域の振興 に関する調査 ～茨城県大子町～

10月28日に茨城県大子町を訪問し、農業の振興対策と、山田ふる

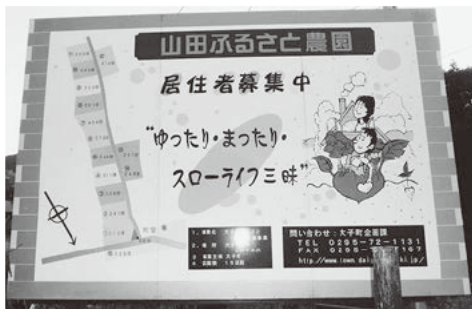
さと農園事業について研修しました。

大子町は日本三大瀑布である袋田の滝で有名です。町の農業は、個々の規模が小さく生産量も少ないですが、お米コンテスト日本一に選ばれた米をはじめ、奥久慈しゃもや常陸大黒豆など優れた農畜産物を有しています。現在は、それらを選抜し六次産業化やブランド化を推進するための協議会を設立し選定作業中ということでした。

また、町では定住促進と町有遊休地の活用を推進するため、農園付きの住宅用地16区画を20年間無償で貸し付ける「山田ふるさと農園」事業を実施しています。使用者が建物を建築し自由に土地を使用することができま

す。平成19年に募集を開始したところ、国内外から問い合わせが殺

到しマスコミも注目しました。最終的に179件の申込みから15件を選び、現在は定住6件、二地域居住5件、建設中1件、募集中1件という状況です。現地を訪れると、家庭菜園やガーデニング、バラ園、陶芸工房などに利用していました。



特別委員会情報

昭和村将来構想特別委員会では12月2日に檜枝岐村議会を訪問し、定数削減を実施した経緯とメリット、デメリットについて研修をしました。今後、特別委員会では将来構想に盛り込む項目の絞り込みや、議会改革について調査研究をおこなう予定です。

奥会津五町村 議会議長 連絡協議会設立

去る11月21日に、昭和村・只見町・金山町・三島町・柳津町の5町村議会の連携強化と地域活性化を図るため設立されました。当面は、JR只見線早期全線復旧を中心に活動します。

編集後記

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

今冬は例年よりも浅雪ではありますが、毎日寒い日が続いております。除雪作業や外出時には落雪、転倒など十分注意してください。

さて、第4回定例議会だよりをお届けします。条例改正、補正予算など生活に密着した内容ですのでご覧ください。3月には新年度予算を審議する第1回定例議会が開催されます。是非傍聴されますようお待ちしております。(菅家敏章)

編集委員

委員長	東原 源伯
副委員長	馬場 栄三
委員	菅家 敏章
委員	菅家 勝
委員	渡部 長治